

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	7. 平和施策事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	5. 広報費	担当所属	広報課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第6章	ともに生き、支え合うまちづくり	5年間計画額	13,924
臨時	単独	計画	0	0	3,172		基本施策4	平和・国際化の対応の推進	平成28年度	4,705
									平成29年度	3,073
									平成30年度	3,073
									平成31年度	3,073
						施策1	市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを啓発します	平成32年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	1,955	
本年度当初査定額	1,955	3,069

財源内訳	財産収入	繰入金					その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0					1,955	△1,955
本年度当初査定額	28	1,927					0	1,114

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・恒久平和に向けて啓発事業を実施します。 原爆の悲惨さや平和の大切さを学ぶため市内中学生による佐倉平和使節団を被爆地に派遣します。 平和啓発講演会を毎年4校程度の小学校を会場に児童を対象とした戦争体験者による平和講話と平和啓発映画の上映を行います。 8月15日に戦没者への追悼と世界の恒久平和を願い、平和式典を実施します。</p>	<p>(事業の目的) ・恒久平和実現の大切さを啓発します。 ・恒久平和実現を目指します。</p>	<p>(事業の効果) ・広く市民に原爆や戦争の悲惨さを理解してもらいます。 ・恒久平和実現の大切さを啓発する市民団体の活動を支援します。 ・恒久平和の重要性を理解してもらいます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 特になし。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 特になし。</p>	<p>(見積についての特記事項) 戦争の悲惨さを身近な問題と認識していない市民もいます。「佐倉市平和行政の基本に関する条例」に基づく事業を継続して実施し、市民の平和意識醸成に取り組みます。また、「核兵器なき世界」の実現に向けた市民意識の向上にもあわせて取り組みます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	20	217	△197
09	400	454	△54
11	76	348	△272
12	10	10	0
13	548	768	△220
14	100	516	△416
19	1,887	1,887	0
25	28	41	△13

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	16	01	02	01	18	00	佐倉平和使節団基金利子	28	28	41	△13
	18	02	01	01	05	00	佐倉平和使節団基金繰入金	1,727	1,727	1,727	0
	18	02	01	01	07	00	ふるさと事業基金繰入金	200	200	0	200
差引一般財源								△1,955	1,114	△1,768	2,882